

学校教育目標	はばたけ都田の子 ～元気・勇気・本気～ ○学ぶ楽しさを知り、共に高めあう子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)(公)(開) ○心と体を鍛え、健やかな子を育てます。(体)				
	創立 130 周年 児童生徒数: 428 人	学校長 今村 行道 主な関係校: 都田中学校	副校長 市川 由紀子	2 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 7

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	都田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	都田中学校 都田小学校 都田西小学校 折本小学校	○思いやりと自信をもって未来を切り拓く子ども ○学び合い、心身ともに、健やかに生活できる子ども ・「思考力・判断力・表現力」の育成を授業研のテーマとして設定し、カリキュラム・マネジメントを通してテーマを意識した授業を展開する。 ・UDを取り入れた教室環境づくり、ICTを活用した授業づくりを推進する。 ・中学校ブロックの教務主任会や専任会などで得た情報を基に、小中連携、小小連携を強化し、授業参観、部活動体験、地域清掃活動等、児童・生徒の交流を充実させる。

中期取組目標	子どもの元気・勇気・本気をつくり出すカリキュラム・マネジメントの推進 ○子どもの思いや考え(意図)を生かしながら、創造性を育む学びを目指します。 ○多様な個性を尊重し、つながりを大切にしながら生きる子どもを育てます。 ○自らの健康やよさ、可能性を自覚し、よりよく生活していこうとする態度を育てます。 ○地域との新たなつながりを生かしたカリキュラムを構築し、職員の働き方を考えながら持続可能な学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 協働的な学び 担当 協働的な学びプロジェクト	①探求的な学習や体験活動を通し、子ども同士が協働的に学ぶ授業を目指す。②様々なコミュニケーションを通して、他者の考えを聞く良さを実感したり他者理解を深めたりすることで、自分の気持ちや考えを表現する力を育てる。
徳 人権・多様性 担当 人権・地域環境チーム	①相手を考えた言葉遣いを心がけ、「勇気」や思いやりをもった子どもの育成を図る。②自他の良さに気付き、一人ひとりの多様性を認め合える授業を行う。③個々の良さを認め価値付けるとともに、縦割り活動や異学年交流、あいさつ運動等を通し、より良い人間関係を育て、安心して過ごせる学校を目指す。
体 健康・安全 担当 体力・健康チーム 安全チーム	①家庭と連携して「眠育」に取り組み、子ども自ら生活リズムを整え、「元気」を引き出すようにする。②なわとび運動や日々の体育科学習の中で運動量を確保し、運動習慣を付け、体力向上を図る。③様々な場面を想定した避難訓練を通して、子ども自ら安全について考え、危険予測、危険回避できることを目指す。
公開 地域・伝統・つながり 担当 人権・地域環境チーム	①子どもの思いを基に活動を選択しながら、地域との持続可能なつながり方を模索し、実践できるようにしていく。②地域の財を生かし、連携を積極的に図ることで学びを広げ、自分たちの暮らす伝統ある地域の良さに気付けるようにする。③130周年記念行事に向けた取組を年間を通して行う。
いじめへの対応(児童指導) 担当 心と体育成プロジェクト	①学校生活アンケートやY-P横浜プログラムを活用し、「いじめを許さない」という学校風土を醸成する。②職員の対応力向上を図り、専門家等も交えた研修を実施する。③子どもが相談しやすい環境づくりや適宜面談を行える体制づくりに努める。④職員全体での情報共有を密に行い、未然防止、対応に努める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務会	①チーム担任制を生かして業務の分散化を図り、誰もが活躍できる組織づくりを進める。②日課表の変更に伴い作り出された時間を有効活用できるように、会議の運営方法を見直し、指導・支援の在り方を共有する機会を設ける。③クラウド上の学習資料等のデータが活用しやすくなるような方法を模索し、業務の効率化を図る。
特別支援 担当 特別支援Co	①子どもの実態に応じ、日常生活や学習場面におけるつまづき等を軽減・克服し、将来社会で自立して生活できる子どもの育成を図る。②個別の教育支援計画を基に、個別最適な学びを目指して保護者や関係機関と連携し、組織的な支援を進める。③ユニバーサルデザインを取り入れた環境及び授業づくりに努める。
ICT活用・表現 担当 協働的な学びプロジェクト 情報	①情報教育カリキュラムの見直し、振り返りを行い、道徳科以外でも情報モラルや活用方法の指導に当たる。②見直したカリキュラムを基に、情報活用能力の育成として学年の実態に応じた目標を設定し、学習に円滑に活用できる基礎的技術の定着を図る。
担当	
担当	